取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

DZ-BD7H形
DZ-BD70形

DZ-BD7H
（ハイブリッドBDカメラ）

DZ-BD70
（BDカメラ）

安全にお使い
いただくために

はじめに

HDD／BD／DVD／
カードについて

撮る

見る

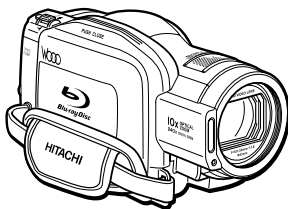
いろいろな撮影
テクニック

BD／DVDにダビングする
(DZ-BD7H)

編集する

他の機器で見る

パソコンと接続する

その他

DZ-BD7HとDZ-BD70の違いにつきましては、はじめに
「本書が対象としている機種と本書の記述方法について」（P.10）を
ご確認ください。

このたびは、日立ビデオカメラをお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。
同梱のCD-ROMを開封する前に必ずP.185をお読みください。
この取扱説明書では、DZ-BD70のイラストを表紙のみに記載しています。

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

さっそく使いましょう

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

警告 安全にお使いいただくために

P.146 ～ 151 もあわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全にお使いいただくために」の注意事項を守る

定期的に点検する

１年に１度は、電源コードに傷がないか、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラや AC アダプター／チャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに「ご相談窓口」にお問い合わせください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら

1. 電源を切る
2. AC アダプター／チャージャー、バッテリーパックを外す
3. 「ご相談窓口（エコーセンター）」に連絡する

裏表紙に「ご相談窓口（エコーセンター）」の連絡先があります。

■ 注意事項の記載方法

本書では、本機を安全にお使いいただくためにご注意いただきたいことを、３段階に分けて記載しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重傷[*1]を負う危険が差し迫って生じることが想定される事項を説明しています。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重傷[*1]を負う可能性が想定される事項を説明しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害[*2]を負ったり、物的損害[*3]が発生したりする可能性が想定される事項を説明しています。

*1 重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
*2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど（高温・低温）、感電などを指します。
*3 物的損害：家屋、家財、および家畜、ペットに関わる拡大損害を指します。

■ 重要な説明を示す記号

重要な説明が一目でわかるように、以下に示す記号を使用しています。

「注意」していただきたい内容を示します。

してはいけない「禁止」行為を示します。

「分解禁止」を示します。

ぬれ手禁止

「ぬれた手で扱うことを禁止する」ことを示します。

「水にぬらすことを禁止する」ことを示します。

「風呂場やシャワー室などでの使用禁止」を示します。

「強制」記号です。必ず実行していただきたいことを示します。

コンセントから必ず「電源プラグを抜く」ことを示します。

この英文は、米国の UL 規格に基づき安全上の注意を記載するものです。

Important Information

WARNING : To prevent fire or shock hazard, do not expose this unit to rain or moisture.

WARNING : Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type.

CAUTION

RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN.

Identifications of caution marks

This symbol warns the user that uninsulated voltage within the unit may have sufficient magnitude to cause electrical shock. Therefore, it is dangerous to make any kind of contact with any inside part of this unit.

This symbol alerts the user that important literature concerning the operation and maintenance of this unit has been included. Therefore, it should be read carefully to avoid any problems.

CAUTION : TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT OPEN.
NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE.
REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.

Avoid using and storing the battery pack in places subject to direct sunlight, high temperatures, or near a flame source.

In addition to the careful attention devoted to quality standards in the manufacture of your video product, safety is a major factor in the design of every instrument. But, safety is your responsibility too.
This page lists important information that will help to assure your enjoyment and proper use of the camcorder and accessory equipment.

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

In addition to the careful attention devoted to quality standards in the manufacture of your camcorder, safety is a major factor in the design of every instrument. But, safety is your responsibility too. This page lists important information that will help to assure your enjoyment and proper use of the camcorder and accessory equipment.

1 Read these instructions.

2 Store these instructions for convenient accessibility.

3 Heed all warnings.

4 Observe all instructions.

5 Do not use the camcorder near water.

6 Clean the camcorder using only a dry cloth.

7 Do not block any ventilation openings. The camcorder should be placed in accordance with manufacturer's instructions.

8 Do not place the camcorder near heat sources such as radiators, heat-registering areas, stoves, or other heat-generating apparatus (including amplifiers).

9 Protect the mains lead and cord from being walked on or pinched, particularly at the plugs, the mains, and at connection points to the camcorder.

10 Only use the attachments and accessories specified by the manufacturer.

11 Use the camcorder only with a cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer or sold with the camcorder. When using a cart to move the camcorder, use caution to avoid injury from tip-over.

12 Unplug the camcorder during lightning storms or when unused for long periods of time.

13 Refer all servicing to qualified servicing personnel. Servicing will be required when the camcorder is damaged in any way, such as if the mains lead, cord, or plug is damaged, liquid is spilled or foreign objects fall into the camcorder, the camcorder is exposed to rain or moisture, does not operate normally, or is dropped.

14 Do not drip or splash liquids onto the camcorder or place the camcorder near objects filled with liquid such as vases.

15 Use the equipment (AC adapter/charger) near the mains with easy accessibility.

もくじ

「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください（P.2、146）

UL 規格に基づく表示 3

Important Information 3
IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS 4

はじめに 7

こんなことができます 7
目的によってディスクを選んでください 8
本書の見かた 10
ご使用の前に － 必ずお読みください －. 12
付属品の確認 14
各部の名称 15
液晶モニターの開きかた 20
ビューファインダーで撮影／再生する 21

さっそく使いましょう 22

準備する 22
バッテリーを充電して取り付ける 22
電源を入れる 23
日時を設定・確認する 23
BD ／ DVD に動画を撮る 24
HDD に動画を撮る（DZ-BD7H） 26
SD メモリーカードに静止画 (写真) を撮る 27
撮影した映像を見る 28
撮影した映像を消す 29

HDD ／ BD ／ DVD ／カードについて 30

HDD ／ BD ／ DVD について 31
BD-R ／ DVD-R について 31
使用できないディスクの例 31
使用できるカードについて 32
BD ／ DVD ／カードの注意事項 32
BD ／ DVD を入れる 33
新品の BD-RE ／ BD-R ／ DVD-RW を入れたときは 34

バッテリーパックについて 36

バッテリーパックのチャージランプと充電時間 36
バッテリーパックでの連続使用時間 36
本機をコンセントにつないで使う 36
DC パワーコードやバッテリーパックを本機から取り外すには 37
バッテリーパックを上手に使うために 37

撮る 38

動画を撮る 38
秒撮をつかう 39
撮影時の画面表示について 41
静止画を撮る 44

見る 46

再生する（見る） 46
最後に撮影したシーンを再生する 46
最後に撮影したシーンを削除する 47
シーンを選んで再生する 47
複数シーンを選んで再生する 48
指定した場面へジャンプする 49
動画再生中、スピーカーの音量を調節する 51
再生時の画面表示 51
再生中、一時停止中にボタン 1 つで操作できる機能 53
カードの静止画を自動連続再生する (スライドショー) 54
動画から静止画を切り出す (静止画キャプチャー) 54
繰り返し再生する (リピート再生) 55

いろいろな撮影テクニック 56

メニュー操作について 56
メニュー (撮影時、初期設定) 57
LCD ／ EVF 設定と初期設定について 58
デモンストレーション機能について ... 59
大きく撮る（光学ズームとデジタルズーム） 60
至近距離からの撮影（接写） 61
別売のレンズで、より広角に、より望遠で撮影する 61
ピントを手動で合わせる (マニュアルフォーカス) 62
撮影画像の明るさを調整する (露出) 63
逆光を補正する (逆光補正) 64
状況に合った撮影モードを選ぶ（プログラム AE） 65
暗い場所を液晶モニターの明かりで撮る（アシストライト） 65
色合いを調整する（ホワイトバランス）... 66
ホワイトバランスを手動で設定する（セット） 66
ブレを少なくして撮る（手ブレ補正） 67
撮影ガイドラインを表示させる 68
風の音を低減させて撮る 68
カメラの撮影設定をすべて初期値に戻す (フルオート) 69
フラッシュを使う 69

レンズ下にある録画ランプを消す 71
動画画質を切り替える............................... 71
セルフタイマーを使う............................... 72
外部マイクを使う 73

BD ／ DVD にダビングする (DZ-BD7H) 74

まだダビングしていないシーンを ダビングする（はじめてダビング）..... 77
同じ日に撮影したシーンをまとめて ダビングする（ひにちでダビング）..... 78
HDD に記録したすべてのシーンを ダビングする（まるごとダビング）..... 79
HDD に記録したシーンを選んで ダビングする（えらんでダビング）..... 80
ダビング済／未ダビングのシーンを 一覧する（表示分類）........................... 81
ダビング済みのシーンを、はじめてダビング できるようにする（マーク解除）......... 82

編集する 83

ディスクナビゲーションから使う メニューについて 84
ディスクナビゲーション画面からの メニューの推移................................ 85
日付ごとに選ぶ.. 87
日付ごとの表示に切り替える (日付) . 87
プレイリスト... 88
プレイリストとは？ 88
プレイリストを作成する 89
プレイリストごとの表示に切り替える 89
プレイリストにシーンを追加する....... 90
プレイリストのシーンを削除する....... 90
プレイリストのシーンを並べ替える ... 91
プレイリストを削除する 91
シーンを削除する（編集～削除）............. 92
動画を分割する（編集～分割）................. 93
複数の動画を結合する（編集～結合）...... 93
シーンを効果的に演出する （編集～フェード）.............................. 94
ジャンプ.. 95
カードのシーンをロックする................... 96
シーンの情報を表示する（情報表示）...... 96
HDD ／ BD ／ DVD ／カードを初期化する （初期化）... 98
HDD ／ BD ／ DVD をプロテクトする.. 99
メディアにあとどのくらい録画できるか 確かめる（残量表示）........................... 99

他の機器で見る 100

テレビにつないで見る............................ 100
テレビと接続する 100
テレビに合わせて 本機の出力設定をする 101
テレビで見る...................................... 102
レコーダーやプレーヤーで見る 103
BD-R ／ DVD-RW(VF モード) ／ DVD-R を BD ／ DVD レコーダー、BD ／ DVD プレーヤーなどで再生する前に 103
BD-RE、DVD-RAM、DVD-RW(VR モード) を BD ／ DVD レコーダーなどで 再生する場合は................................... 104
DVD-RW(VR モード) の ファイナライズについて.................... 104
ファイナライズする................................ 105
ファイナライズを解除する 107
BD ／ DVD レコーダーや BD ／ DVD プレーヤーで再生する.. 107

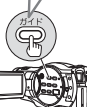
パソコンと接続する 108

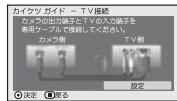
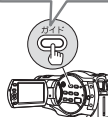
ソフトウェアのインストール............ 110
映像をパソコンで取り込む前の準備 112
本機とパソコンのつなぎかた............ 112
パソコン接続中の メディアの取り出しかた.............. 113
パソコン内蔵のドライブで ディスクを使用する 114
PC 接続の終了 (USB ケーブルの取り外し）・電源スイッチを切り替える前に.............. 114
ImageMixer 3 HD Edition for BD カムの 使い方... 115
ソフトウェアの アンインストールについて........... 121
パソコンと接続するときの注意事項...... 122
お問い合わせ先 123

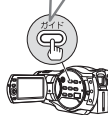
その他 124

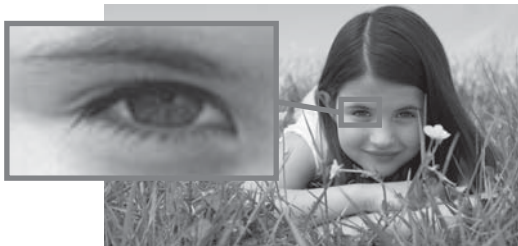
別売品の紹介 124
海外で使うとき 125
メッセージが表示されたら 126
故障かな…と思ったら............................ 133
ご使用上の注意 139
HDD についてのご注意.................... 139
取り扱い上のご注意.......................... 140
システムリセット................................... 152
ソフトウェアのライセンス情報 153
Quick Operation (English)................. 163
保証とアフターサービス （必ずお読みください）....................... 176
主な仕様.. 177
HDD ／ BD ／ DVD ／カードの 記録容量.. 179
用語集.. 181
索引... 182
同梱の CD-ROM の開封前に 必ずお読みください............................ 185
使用許諾契約書 185
お出かけ前に機材のチェック 186

こんなことができます

撮る！ 動画も静止画もこれ一台で!!

撮ったら

見る！ テレビにつないで大画面で!!

見たら

残す！ 保存ディスク選びもプレゼントも簡単!!

■ 目的によってディスクを選んでください

ハイビジョン画質（HD）で撮る／ダビングする

標準画質 (SD) の約６倍の情報量

撮る (DZ-BD7H)

ダビングする (DZ-BD7H)

撮る

ハードディスク（HDD）に記録する

ブルーレイディスク（BD）に記録する

このカメラで編集・削除しますか？

はい

いいえ

繰り返し録画

HDD

- 長時間のハイビジョン画質（HD）撮影ができます。
- このカメラで編集・削除できます。
- 撮影や編集後、HD 映像を HDD から BD へダビングできます。ダビングによる画質劣化もありません。
- 撮影や編集後、HDD から DVD へダビングできます。

※ 画質は標準画質（SD）になります。

繰り返し録画

BD-RE

１回録画

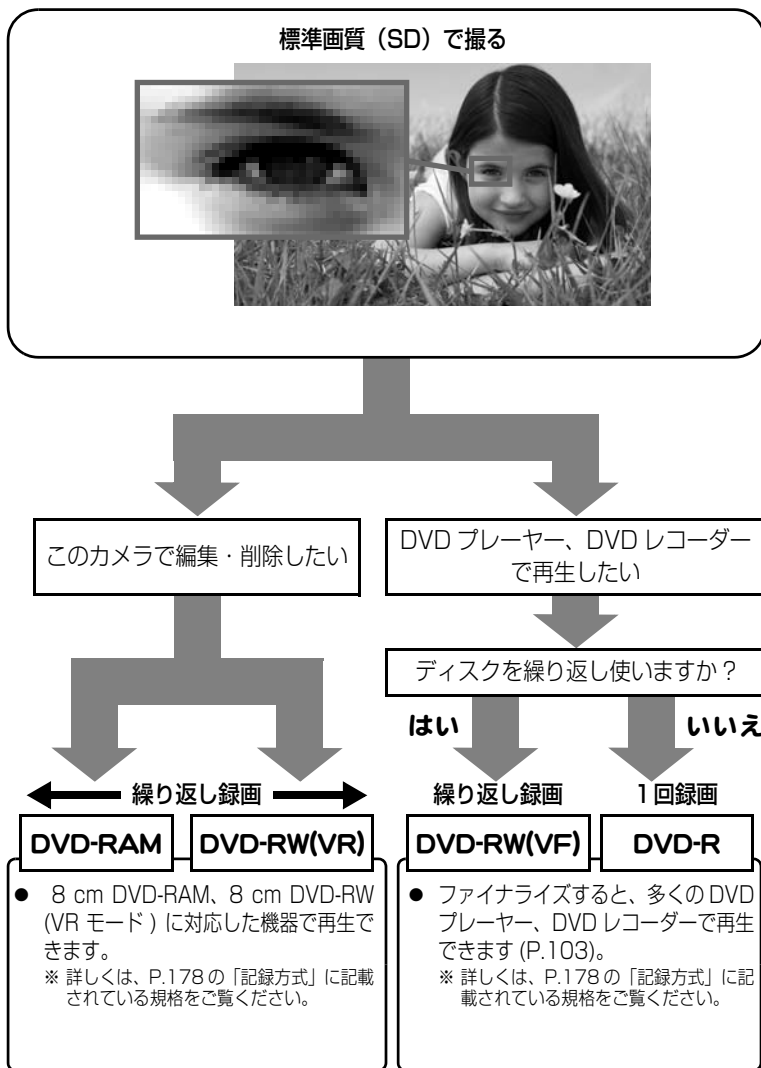
BD-R

- １時間の 1920 × 1080 フルハイビジョンを１枚の BD に記録できます。
- 8cm BD-RE／BD-R に対応した機器で再生できます。

※ 詳しくは、P.178 の「記録方式」に記載されている規格をご覧ください。

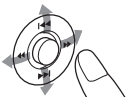
はじめに

- 8 cm DVD-RAM、8 cm DVD-RW (VR モード) に対応した機器で再生できます。
  ※ 詳しくは、P.178 の「記録方式」に記載されている規格をご覧ください。

- ファイナライズすると、多くの DVD プレーヤー、DVD レコーダーで再生できます (P.103)。
  ※ 詳しくは、P.178 の「記録方式」に記載されている規格をご覧ください。

本書の見かた

本書が対象としている機種と本書の記述方法について

本書は、DZ-BD7H と DZ-BD70、2 機種共通の取扱説明書です。
DZ-BD7H は、HDD(ハードディスク) ／ BD ／ DVD に録画でき、
DZ-BD70 は、BD ／ DVD のみに録画できます。
このため本書には HDD の記述があります。
DZ-BD70 をご購入のお客様は、HDD の記述を読み飛ばして、本書をご利用ください。

例)
「HDD、BD、DVD、カードに関するメニューが表示されます。」は、
「BD、DVD、カードに関するメニューが表示されます。」とお読み替えください。

DZ-BD7H だけに搭載されている機能の見出し、要所には、
括弧書き DZ-BD7H の記述があります。
例)「BD ／ DVD にダビングする (DZ-BD7H) 」

DZ-BD7H **DZ-BD70** **DZ-BD7H と DZ-BD70 の操作方法や説明が違う場合、左のようなマークで、それぞれの記載内容が示されています。**
P.38 を例としてご覧ください。

ジョイスティックの表記について

ジョイスティックは、上下左右に動かしてメニューの項目やシーンを選び、まん中を押して決定します。

操作	本書での表記
上下左右で選択	**⏮ ／ ⏭ ／ ◀◀ ／ ▶▶** **上／下／左／右**
中央で決定	**[決定]（決定ボタン）** **決定する**

- 画面に表示される項目の選択には、[◀◀] ／ [▶▶] ／ [⏭] ／ [⏮] などを使いますが、手順説明では、「▶」のマークを使って省略しています。操作がわからない場合は、「メニュー操作について」（P.56）をご覧ください。

ボタンの表記について

本文、手順にあらわれるボタンは、名称を [　] で囲んで、ボタンであることを示しています。
例：[ディスクナビゲーション] を押す

メディアの表記について

本機の機能は、使用するメディア (HDD ／ BD ／ DVD ／カード) によって、使用できる機能に制限があります。
ご使用になる HDD、BD、DVD やカードがその機能に対応しているかどうかは、以下のような見出し上のマークで識別してください。

DZ-BD70 に HDD はありません。
HDD のマークは無視して本書をご利用ください (P.10)。

HDD BD-RE BD-R RAM -RW(VR) -RW(VF) R カード

メディアの種類	マーク	メディア
HDD	HDD	内蔵ハードディスク（HDD）（DZ-BD7H）
ブルーレイディスク Blu-ray Disc BD	BD-RE	BD-RE（繰り返し録画用ブルーレイディスク）
	BD-R	BD-R（１回録画用ブルーレイディスク）
DVD	RAM	DVD-RAM
	-RW(VR)	DVD-RW（VR モード）
	-RW(VF)	DVD-RW（VF（ビデオ）モード）
	R	DVD-R
カード	カード	SD メモリーカード miniSD メモリーカード (専用アダプターが必要です) microSD メモリーカード (専用アダプターが必要です)

本書内の画面について

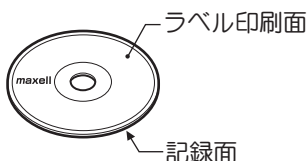
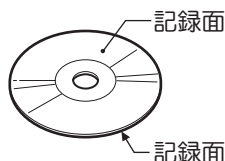
本書に記載されている画面表示は、メッセージ表示を省略しております。
画面のメッセージ表示については、実際の画面でご確認ください。

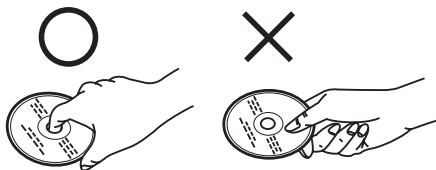
ご使用の前に － 必ずお読みください －

試し撮りをしてください

- 大切な撮影前には必ず試し撮りをして、正常に記録されるかを確認してください。

ディスクの記録できる部分について

- 片面ディスクの場合：　ラベル印刷されていない面がディスクの記録面です。
  ラベル印刷面は全面白色のものもあります。
- 両面ディスクの場合：　ディスクのどちらの面にも記録できます。

片面ディスク

ディスクの持ちかた

- ディスクの記録できる部分には触れないように持ってください。

正しく記録するためには

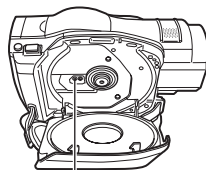
- ディスクの記録面には触れないでください。
- ディスクの記録面に汚れ、傷がないことを確認してください。
- 記録面に汚れが付いていた場合は、柔らかい布で軽くふき取ってください。

柔らかい布で内周から外周へ軽くふいてください。

ディスク装置のご注意

- ピックアップには絶対触れないでください。

振動衝撃のご注意

- アクセス／PC接続ランプ(P.15)が点灯している間は、強い振動や衝撃を与えないでください。
  特に、撮影終了後もしばらくランプが点灯していますので、ご注意ください。

BD ／ DVD について

- 本機と組み合わせ動作が確認されている日立マクセル製のディスクをおすすめします。
- 輸送中大きな振動衝撃が加わるおそれがあるときは、BD/DVD を取り出し、本機を柔らかいもので保護してください。

BD ／ DVD を他の機器（レコーダー、プレーヤー、パソコン）でご利用になるときは

- すべてのレコーダー／プレーヤーなどでの再生を保証するものではありません。
- 再生する機種やディスクの記録状態によっては再生できない場合があります。
- 本機で記録したBD-R／DVD-RW／DVD-Rを他の機器でご利用になるときは、必ず本機でファイナライズ (P.105) をしてください。

撮影した映像の補償はできません

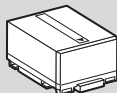
- 本機や BD、DVD、カードの不具合により、正常に記録されなかったり、再生できなくなった記録内容の補償はご容赦ください。また、お客様が撮影された映像や音声に関しても、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機や BD、DVD、カードの使いかたを誤ったりしたとき、録画した内容が消失することがあります。録画した内容の消失による損害の補償については、ご容赦ください。
- 本機の修理をした場合に、録画した内容が消失することがありますが、当社では一切責任を負いません。

著作権にご注意ください

- 実演や興業、展示物などは、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

付属品の確認

箱を開けたら、付属品がすべてそろっているか、必ず確認してください。

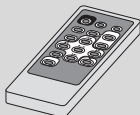
バッテリーパック
（型番：DZ-BP14S）

本機の充電式バッテリーです。充電してからお使いください。

AC アダプター／チャージャー
（型番：DZ-ACS3）

家庭用コンセントから電源をとるときに使用します。バッテリーパックを充電するときにも使用します。

DC パワーコード

家庭用コンセントから電源をとるときに、本機と AC アダプター／チャージャーとを接続します。

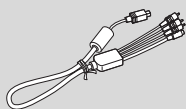
リモコン（型番：DZ-RM4J）

本機を離れたところから操作するときに使用します。

リモコン用リチウム電池
（型番：CR2032）

リモコン用の電池です。

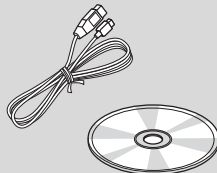
電源コード

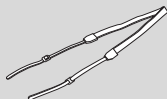
家庭用コンセントと AC アダプター／チャージャーとを接続します。

AV ／ S ケーブル

本機の映像／音声をテレビで見るときや、他のビデオ機器に映像／音声を出力するときに使用します。

D 端子ケーブル

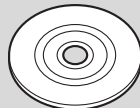
テレビに D 映像入力端子があるときに使用します。音声出力には、AV ／ S ケーブルを使用します。

USB ケーブル／
ソフトウェア CD-ROM

パソコンと接続するときに使います。

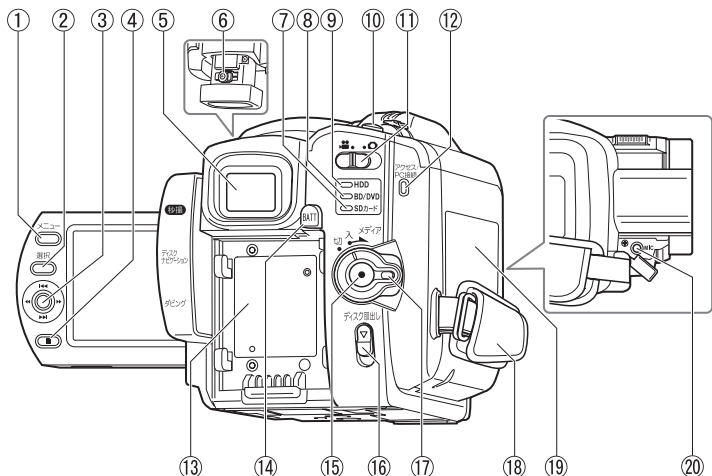
ショルダーストラップ

本機を肩から下げるために取り付けます。

ディスククリーニングクロス

BD ／ DVD のクリーニングに使います。

8cm BD-RE 片面ディスク

本機の映像を記録します。

各部の名称

ビューファインダー側

① メニューボタン（P.23）
② 選択ボタン（P.46）
③ ジョイスティック (P.28)
④ ■ (停止／キャンセル) ボタン (P.46)
⑤ ビューファインダー（P.21）
⑥ 視度調節つまみ（P.21）
⑦ SD カードランプ（P.27）
⑧ BD ／ DVD ランプ（P.24）
⑨ HDD ランプ (DZ-BD7H) (P.26)
⑩ フォトボタン（P.27）
⑪ 動画／静止画選択スイッチ (P.25)
⑫ アクセス／ PC 接続ランプ (P.12)
⑬ バッテリー取付部（P.22）
⑭ バッテリーイジェクトボタン (P.37)
⑮ 録画ボタン（P.25、26）
⑯ ディスク取出しスイッチ (P.24)
⑰ 電源スイッチ／ロックボタン (P.23)
⑱ グリップベルト（P.19）
⑲ ディスク挿入部（P.24）
⑳ 外部マイク (MIC) 端子 (P.73)

液晶モニター側(開いたところ)と底面

① 画面表示ボタン（P.41）

② 逆光補正ボタン（P.64）

③ スピーカー

④ 露出ボタン（P.63）

⑤ ガイドボタン（P.7）
このボタンを押すと、液晶画面上で、テレビとの接続を誘導しながら教えてくれたり、ディスクの選び方のヒントを教えてくれたりします。本書では、このボタンが使える箇所を、吹き出しアイコンで示しています。

［カイケツガイド］使えます！(P.7)

⑥ フルオートボタン（P.69）

⑦ RESET(リセット) ボタン（P.152）

⑧ 秒撮ボタン（P.39）

⑨ ディスクナビゲーションボタン（P.28）

⑩ ダビングボタン（DZ-BD7H）（P.77）

⑪ USB 端子（P.112）

⑫ 三脚ネジ穴
三脚に取り付けるときに使用します。

⑬ カードアクセスランプ（P.32、45）

⑭ カード挿入部（P.27）

⑮ HDMI 出力端子 (P.100)

⑯ ファイナライズボタン（P.106）

⑰ フォーカスボタン（P.62）

レンズ側

① オートレンズカバー
電源を入れると自動的に開き、光学 10 倍ズームレンズがあらわれます。

② レンズフード

③ ステレオマイク
撮影時は手などでおおわないように気をつけてください。

④ ズームレバー（P.51、60、62）

⑤ アクセサリーシュー

⑥ フラッシュ（P.69）

⑦ 受光センサー
フラッシュの発光量を制御するためのセンサーです。撮影時は手などでおおわないように気をつけてください。

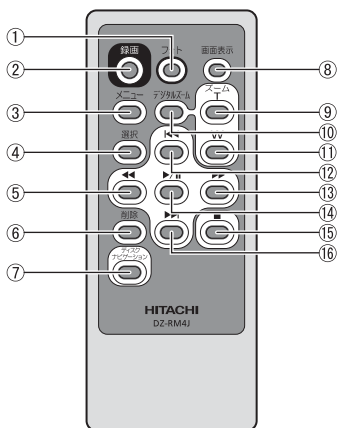
⑧ 録画ランプ（P.39）

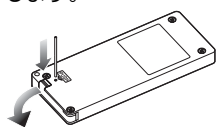
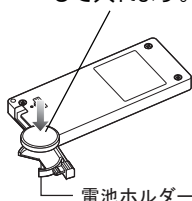
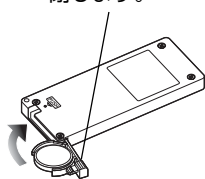
⑨ リモコン受信部／赤外線センサー

⑩ コンポーネントビデオ出力端子（P.101）

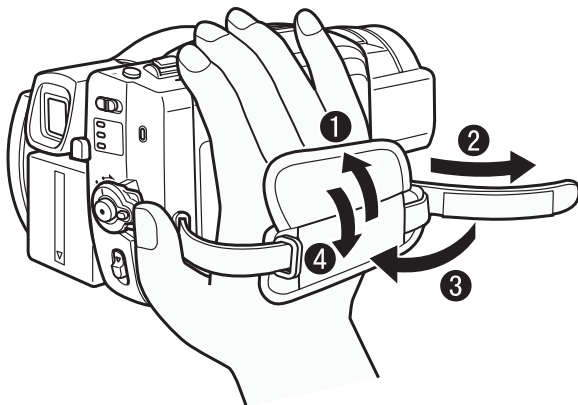
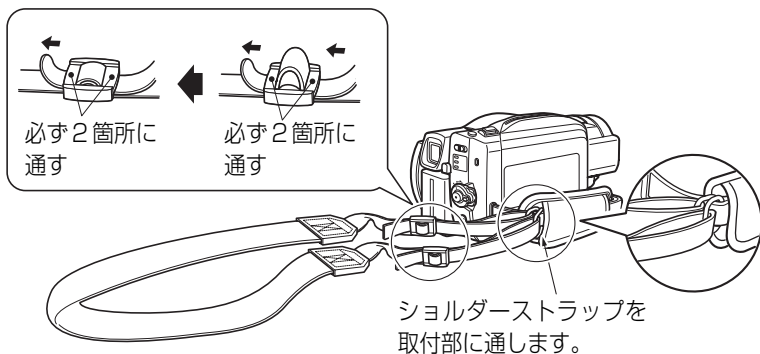
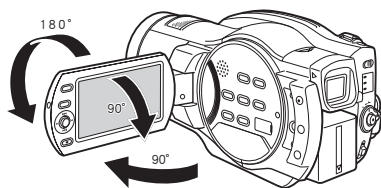
⑪ AV 出力端子（P.101）

⑫ ワイドカラー液晶モニター

リモコン

① フォトボタン（P.27）
② 録画ボタン（P.25、26）
③ メニューボタン（P.23）
④ 選択ボタン（P.46）
⑤ 逆方向サーチボタン（P.28）
⑥ 削除ボタン（P.92）
⑦ ディスクナビゲーションボタン（P.28）
⑧ 画面表示ボタン（P.41）
⑨ ズーム T ボタン（P.60）
⑩ デジタルズームボタン（P.60）
⑪ ズーム W ボタン（P.60）
⑫ 逆方向スキップボタン（P.28）
⑬ 正方向サーチボタン（P.28）
⑭ 決定ボタン（P.28）
⑮ 停止ボタン (P.46)
⑯ 正方向スキップボタン（P.28）

リモコンに電池を入れる

リモコンから電池を取り出すときは、同じ手順を行い、取り出してください。
※電池の取り扱いに関しては、P.148、151 をご覧ください。

グリップベルトを調整する

グリップベルトを図の順番にしっかりと締めてください。

ショルダーストラップを取り付ける

液晶モニターの開きかた

液晶モニターは次のように使えます

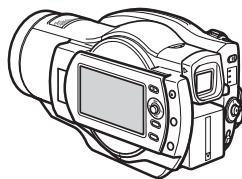
高いところや
人越しの撮影を
するとき

基本姿勢

脇をしめ、動かすときは
ゆっくりと。
ぶれない、効果的な撮影が
できます。

対面撮影で自分を撮るとき
はリモコンを使うと便利で
す。(P.21)

小さなお子さんや
ペットの目線で
無理なく撮影

再生するときなど

- 液晶モニターやビューファインダーの明るさや色のこさの調整についてはP.57～58を、メニューの操作方法については P.56 をご覧ください。
- 明るい屋外など、液晶モニターが見えにくい場合は、ビューファインダーが便利です(P.21)。

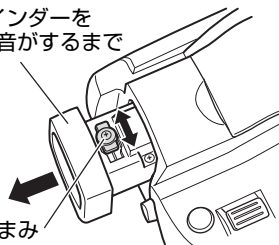
対面撮影時の画面表示について

- 液晶モニターの映像は、鏡のように左右反対に表示されます。
- 液晶モニターを対面撮影状態にすると、ビューファインダーでも映像が確認できます。（液晶モニターの位置に関わらず、常にビューファインダーをオンにすることもできます。（P.56 ～ 58））
- バッテリー残量表示は、バッテリーの残りがほとんどない状態でのみ表示されます。このときのバッテリー表示は、赤色で点滅します。
- 対面撮影時は、警告／メッセージ表示（P.126）は表示されません。
  対面撮影時に下表の表示が液晶画面に点灯したときは、180゜回転して元に戻すと、警告／メッセージ表示が確認できます。
- 液晶モニターには、以下の動作状態が表示されます。

機 能	説 明
（HDDアイコン）	● HDD に記録できない状態です。 ● HDD を使って静止画を撮影しようとしています。
（ディスクアイコン）	● BD ／ DVD を使って静止画を撮影しようとしています。 ● 使用できないディスクが入っています。
（カードアイコン）	● カードを使って動画を録画しようとしています。 ● 使用できないカードが入っています。
（ロックアイコン）	● HDD ／ BD ／ DVD がプロテクトされています。 ● カードがロックされています。
○	● 記録中 (赤い点灯表示) ● HDD ／ BD ／ DVD の残量がほとんどありません (赤い点滅表示)。
▯▯○	● 録画一時停止中 (緑の点灯表示) ● フォーカスロック中 (紫の点灯表示) ● HDD ／ BD ／ DVD ／カードの残量がほとんどありません (赤い点滅表示)。 ● HDD ／ BD ／ DVD ／カードの残量がありません (緑の点滅表示)。

- マニュアルフォーカス、露出、画面表示モードの切り替えは対面撮影時でも可能ですが、画面には表示されません。
- 対面撮影状態で液晶モニターを光源にして、暗い場所で撮影する使いかたもあります（アシストライト）(P.65)。

ビューファインダーで撮影／再生する

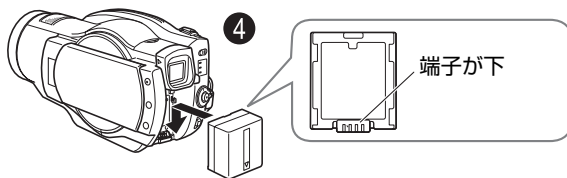
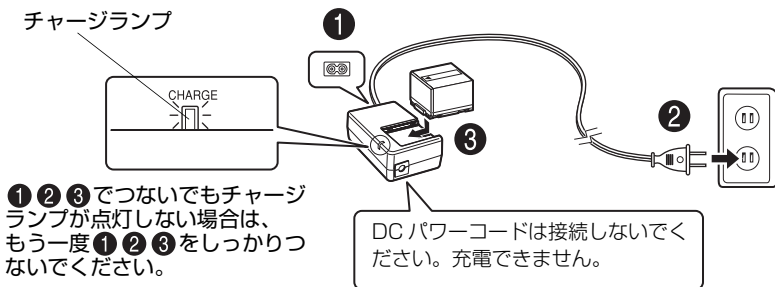
- 液晶モニターを閉じているときと、対面撮影状態にしているときに、ビューファインダーが使えます。
- 液晶モニターの位置に関わらず、常にビューファインダーをオンにする設定や、明るさ、色のこさの調整はP.56 ～ 58 をご覧ください。
- ビューファインダーは、きちんと引き出さないとピントが合いません。

準備する

■ バッテリーを充電して取り付ける

❶ 電源コードを AC アダプター／チャージャーにつなぐ

❷ 電源コードをコンセントに差し込む

❸ バッテリーパックを AC アダプター／チャージャーに取り付ける

❹ バッテリーパックを本機に取り付ける

● バッテリーパックの充電の状態

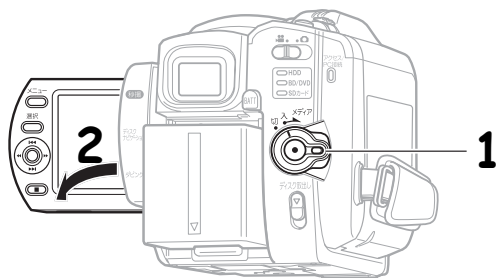
バッテリーパックの充電状態は、AC アダプター／チャージャーのチャージランプで確認できます。

充電の状態	チャージランプ
充電中	点灯
充電完了	消灯

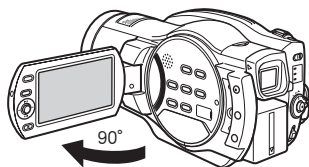
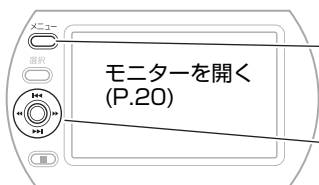
※ 充電時間は P.36 をご覧ください。

ご注意

- 10 ℃～ 30 ℃の環境で充電を行ってください。
- 充電は同梱の AC アダプター／チャージャーをご使用ください。

■ 電源を入れる

1 電源を入れる

ロックボタンを押しながら「入」に合わせます

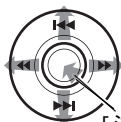
2 液晶モニターを開く

■ 日時を設定・確認する（お買い上げ時や久しぶりに使う場合）

❶ [メニュー] を押す

❷ ジョイスティックで「日付機能設定」▶「日付設定」を選ぶ

ジョイスティックの使い方については、P.28 をご覧ください。

日付設定

2007 / 10 / 1 AM 10 : 00

変更 移動 決定 戻る

❸ 年→月→日→ AM/PM →時→分を ◀◀ ／ ▶▶ で選び、|◀◀ ／ ▶▶| で設定、最後に [決定] を押す

確認画面が表示されます。

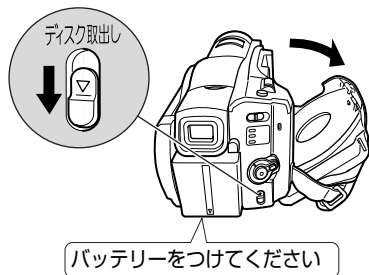
❹ 画面に日時が表示されます。

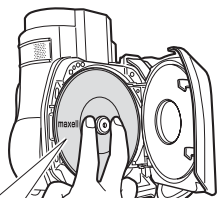
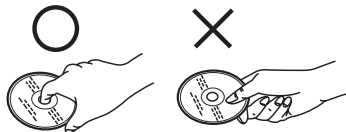
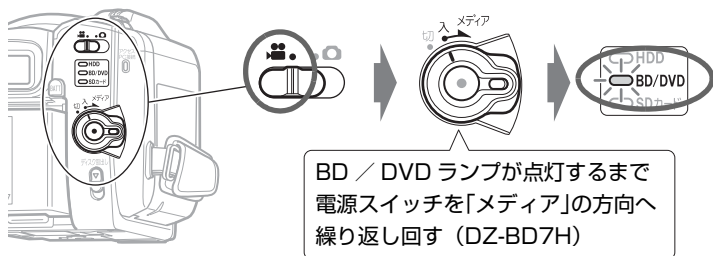
※ お買い上げ時は日時が設定されている場合もあります。

さっそく使いましょう

BD ／ DVD に動画を撮る

1 BD ／ DVD を入れる

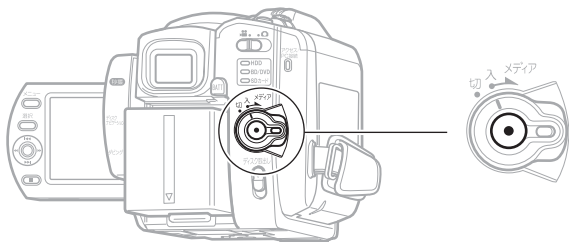
バッテリーをつけてください

ディスクの持ちかた

ディスクの記録できる部分には触れないように持ってください (P.12)。

BD ／ DVD の記録面を内側（本体側）にして入れてください（片面ディスクの場合、ラベル印刷面の反対側が記録面です）。

さっそく使いましょう

2 電源を入れる

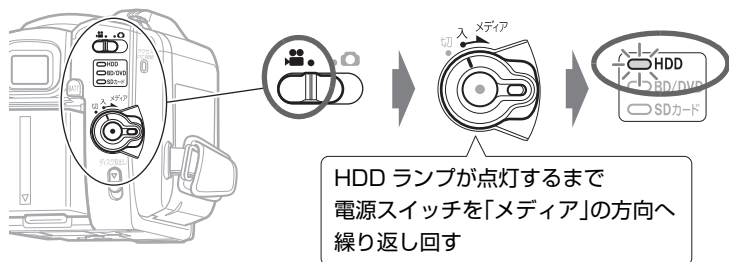
ヒント

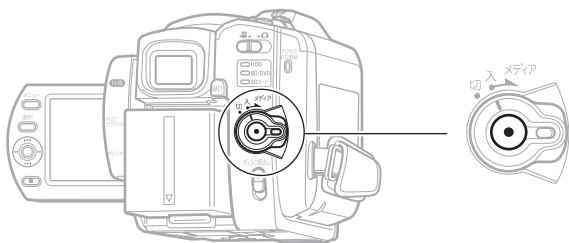
- 新品のBD-RE／BD-R／DVD-RWを入れたときにディスク初期化のメッセージが表示された場合は、画面にしたがってディスク初期化を行ってください (P.34)。DVD-RAM ／ DVD-R はそのまま録画できます。
- このままでも録画できますが、動画画質を変えられます。(P.71)

3 録画ボタンを押す

録画が始まります。
録画を止めるときは、もう一度録画ボタンを押します。

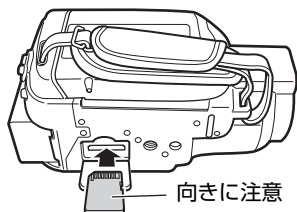
本機から取り出した BD-R ／ DVD-RW（VF モード）、DVD-R を BD ／ DVD プレーヤーなどで再生する前に →
「ファイナライズ」してください。(P.103)

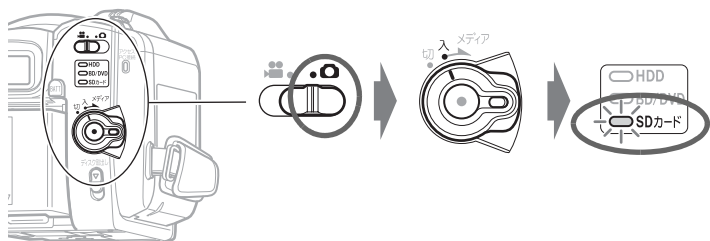
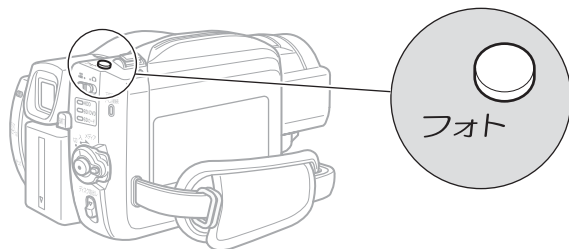
HDD に動画を撮る（DZ-BD7H）

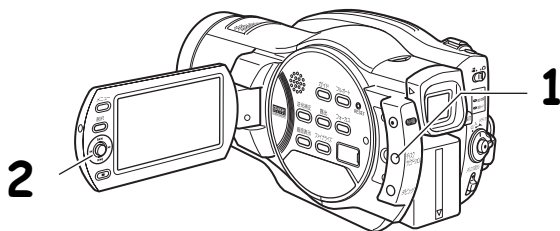
1 電源を入れる

このままでも録画できますが、動画画質を変えられます (P.71)。

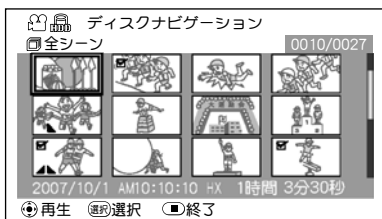
2 録画ボタンを押す

録画が始まります。
録画を止めるときは、もう一度録画ボタンを押します。

SD メモリーカードに静止画（写真）を撮る

1 SD メモリーカードを入れる

使えるカードの種類については、P.32 をご覧ください。

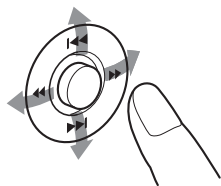
2 電源を入れる

3 [フォト] を押す

半分まで押すと、ピントが画面中央にある被写体に合います。
完全に押し込むと撮影されます。
（リモコンのフォトボタンを押すと、ピント合わせをした後に撮影が行われます。）

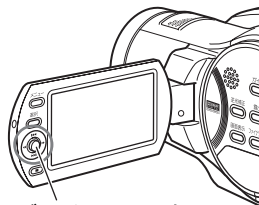
撮影した映像を見る

1 [ディスクナビゲーション] を押す

2 再生したいシーンを選び、[決定] を押す

選んだシーンが再生されます。

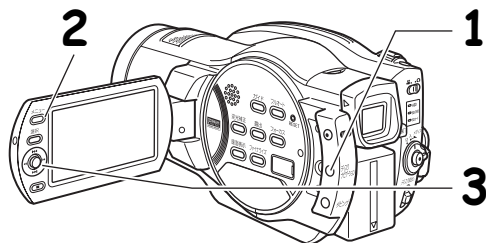
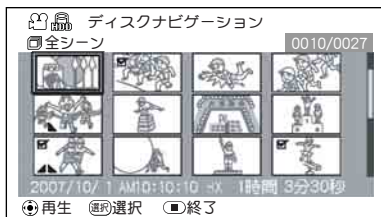
テレビにつないで見るには、P.100 をご覧ください。
画面の日時表示を消すには、[画面表示] を何度か押してください。

ヒント

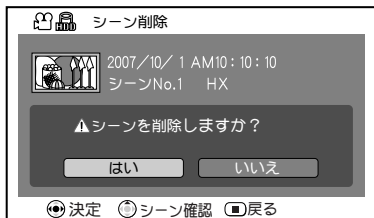
項目を選ぶときは、ジョイスティックを上下左右に動かします。
項目を決定するときは、[決定]（ジョイスティックのまん中）を押します。

上下左右で選択

中央で決定

ジョイスティック

撮影した映像を消す

1 [ディスクナビゲーション] を押す

2 消したいシーンを選び、[メニュー] を押す

[選択] で複数のシーンを選ぶこともできます。

3 「シーン」 ▶ 「編集」 ▶ 「削除」を選び、[決定] を押す

4 「はい」 を選び、[決定] を押す

選んだシーンが削除されます。

- BD-R ／ DVD-RW（VF モード）／ DVD-R ではシーンを削除できません。

HDD ／ BD ／ DVD ／カードについて

HDD と本機で使用できる BD、DVD、カードそれぞれの特長は以下の表の通りです。

種類 特長	内蔵 HDD	BD-RE	BD-R	DVD-RAM	DVD-RW (VR)	DVD-RW (VF)	DVD-R	SD メモリーカード
ハイビジョン動画の撮影 (P.38)	●	●	●	—	—	—	—	—
スタンダード動画の撮影 (P.38)	—	—	—	●	●	●	●	—
静止画の撮影 (P.44)	—	—	—	—	—	—	—	●
映像の削除 (P.92)	●	●	—	●	●	—	—	●
映像の編集 (P.83)	●	●	—	●	●	—	—	—
他の BD ／ DVD 機器での再生 (P.103)	—	●*1	●*1*2	●*1	●*1*2	●*2	●*2	—
初期化して繰り返し使用 (P.98)	●	●	—	●	●	●	—	●
ファイナライズ後に追加の記録 (P.107)	●*3	●*3	—	●*3	●	●*4	—	●*3
パソコンに映像を取り込む (P.108)	●*5	●*5	●*5*6	●*5	●*5*6	●*5*6	●*5*6	●
パソコンを使ってハイビジョン画質のディスクを作る	—	●*5*7	●*5*7	—	—	—	—	—
パソコンを使って標準画質のディスクを作る	—	—	—	●*5*8	●*5*8	●*5*9	●*5*9	—

*1　再生できない機器もあります。
　　それぞれのメディアに対応した機器で再生可能です。
*2　ファイナライズが必要です。
　　再生できない BD ／ DVD プレーヤーや BD ／ DVD レコーダーもあります。
*3　ファイナライズがないので、いつでも追加記録できます。
*4　記録するには、ファイナライズの解除が必要です。
*5　同梱ソフトウェアを使用します。
*6　パソコンで再生、保存するにはファイナライズが必要です。
*7　BD メニューは作成されません。
*8　DVD-VR のディスクを作成できます。
*9　DVD ビデオのディスクを作成できます。

■ HDD ／ BD ／ DVD について

使用できるメディアとマーク（ロゴ）		特長
HDD (DZ-BD7H)		ハイビジョン動画を長時間（HX モード時で約 4 時間）記録できます。不要なシーンの削除や編集ができます。
BD-RE Ver.2.1 7.5GB 2X (8 cm)	Blu-ray Disc	ハイビジョン動画を繰り返し録画できるディスクです。削除や編集ができます。
BD-R Ver.1.1 7.5GB 2X (8 cm)		ハイビジョン動画を 1 回録画できるディスクです。削除や編集ができません。
DVD-RAM Ver.2.1 (8 cm)	DVD RAM	不要なシーンの削除や編集ができます。
DVD-RW Ver.1.1 2X (8 cm)	DVD RW	不要なシーンの削除や編集ができる VR モードと、削除や編集はできませんが、DVD プレーヤーと高い互換性があるVFモードを選べます。
DVD-R for General Ver.2.0 (8 cm)	DVD R	DVD プレーヤーとの高い互換性があります。削除や編集はできません。

BD-R Ver.1.2 7.5GB (8 cm) で LTH TYPE ではない 2X のディスクは使用できます。

※ この表の Ver. は、ディスクの物理規格の Ver. を示します。

ご注意

- ディスクは本機と組合せ動作が確認されている日立マクセル製 (DVD の場合は HG タイプ) の片面ディスクをおすすめします。両面ディスクをお使いになる場合は、記録面に指紋や傷などをつけないよう取り扱いに十分ご注意ください。日立マクセル製以外のディスクをお使いになると、本機の性能が十分発揮されないことがあります。
- 角型カートリッジ／キャディケース、丸型ホルダーに入ったディスクは、中のディスクを取り出して使用してください。

■ BD-R ／ DVD-R について

本機では、BD-R ／ DVD-R で最適な録画をするため、ディスクの出し入れや電源の入／切をしたあとの録画のときに、ディスクの書き込み調整をします。
ディスク調整のための書き込み領域がなくなると録画できなくなることがありますので、録画をともなうディスクの出し入れ、および電源の入／切は 1 枚の BD-R ／ DVD-R に対して、100 回以上しないようにしてください。

■ 使用できないディスクの例

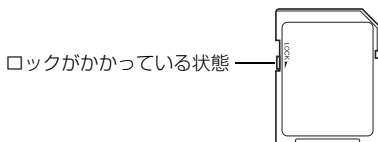
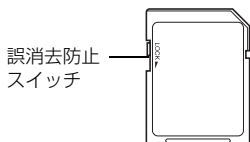
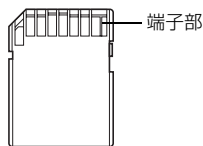
BD および DVD の 2 層ディスク、BD-R LTH TYPE のディスク（色素膜を使用したもの）、+RW、+R、HD-DVD。

■ 使用できるカード について

本機で使用できるのは、SD メモリーカードです。
また､専用のアダプターを使うことにより､miniSDメモリーカードおよびmicro SD メモリーカードを SD メモリーカードとしてお使いいただけます。SDHC カード、マルチメディアカードは使用できません。

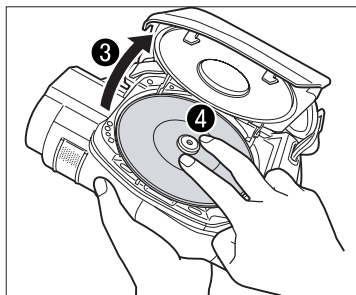
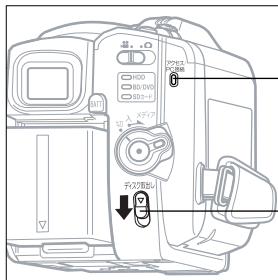
● カード の扱いかた

- 正規のカード以外は使用しないでください。
- 貴重な映像を記録する場合は、必ず試し撮りをしてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。

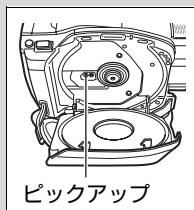
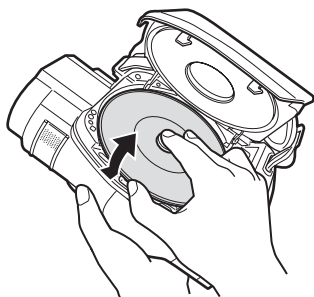
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼り付けないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下、暖房器具の近くなど、気温の高いところ
  - 湿気、ほこりが多いところ
- 誤消去防止スイッチをロックしておくと、再生はできますが記録や消去、編集ができなくなります。

■ BD ／ DVD ／カード の注意事項

以下の場合はデータが壊れたり、消失したりすることがありますので、注意してください。

- 読み込み中や書き込み中（カードアクセスランプの点灯中）にバッテリーを外したり、カードを抜いた場合（P.16、45）
- 強い静電気が発生する場所で使用した場合
- ディスクを本機に入れたまま、長期間使用しない場合

■ BD ／ DVD を入れる

1. バッテリーまたは AC アダプターを接続する
2. 電源スイッチを「切」に合わせ、ディスク取出しスイッチを、アクセス／ PC 接続ランプが点灯するまで下に押し、手をはなす
3. しばらく待つとふたが少し開くので、手でカチッと音がするまでさらに開く
4. 記録面を内側にし、BD ／ DVD の中心部を、カチッと音がするまで押し込む
   - 片面ディスクの場合、ラベル面の反対側が記録面です。
   - 両面ディスクの場合、反対側に記録するには、裏返して入れ直します。
5. ふたを閉じる
   アクセス／ PC 接続ランプが点滅します。その間、電源を外したり、振動、衝撃を加えたりしないでください。
6. 新品の BD-RE ／ BD-R ／ DVD-RW を入れたときにディスク初期化のメッセージが表示された場合は、画面にしたがってディスク初期化を行ってください (P.34)。DVD-RAM ／ DVD-R はそのまま録画できます。
7. 撮影するときは「動画を撮る」（P.38）、記録済みの BD ／ DVD を再生するときは、「再生する（見る）」（P.46）に進んでください。

ご注意

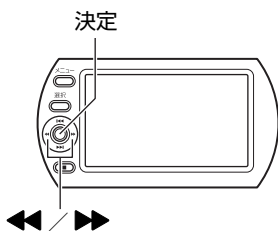
- 使用直後のディスク装置は、大変熱くなっています。
  金属部には触れないでください。
- ピックアップはのぞきこまないでください。
  視力障害を起こす原因となります。
- 以下は故障の原因になります。絶対にしないでください。
  — ピックアップをさわる
  — 本機で使用可能なディスク (P.31) 以外を入れる
  — ディスクを確実にセットしないでふたを閉める
- 約 3 分ふたを開けたままにしていると、自動的に電源が切れます。
- 電源供給が無いとふたはあきません。

ディスクを取り外すときは

ターンテーブルの中央部分を押さえながら、ディスクの端の方をつまみあげるようにして取り出す。

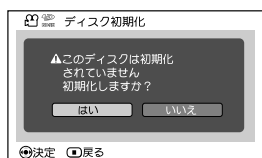
本機から取り出した
BD-R ／ DVD-RW（VF モード）、
DVD-R を BD ／ DVD プレーヤーなどで再生する前に →
「ファイナライズ」してください。**(P.103)**

■ 新品の BD-RE ／ BD-R ／ DVD-RW を入れたときは

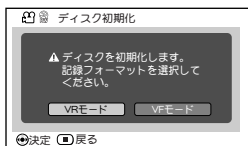
本機の撮影で使うには初期化が必要です。ディスクを入れると、自動的に初期化の確認画面が液晶画面に表示されます。以下の手順で初期化してください。

❶ 液晶モニターを開く

ご注意

初期化中に電源が切れると、そのディスクは使えなくなります。

❷ [◀◀] で「はい」を選び、[決定] を押す

BD-RE ／ BD-R の場合
初期化が始まります。手順❸はありません。

DVD-RW の場合
手順❸に進んでください。

❸ DVD-RW の場合
記録フォーマットの選択画面が表示されます。
[◀◀] ／ [▶▶] で「VR モード」または「VF（ビデオ）モード」を選び、
[決定] を押す

VR モード
撮影後、シーンを選択して削除したり、いろいろな編集が可能です。ファイナライズして、8cmDVD-RW(VR モード) に対応した機器で再生できます。

VF（ビデオ）モード
編集できませんが、ファイナライズすれば、DVD ビデオとして、他の DVD 機器で再生できます。